

《別 紙》

1. 開催年月日 令和8年1月19日(月)開催
2. 開催場所 エフエム西東京 1階 会議室 (東京都西東京市芝久保町5-8-2)
3. 出席委員
委員総数 7名
出席委員 2名 下川隆委員長 野澤秀夫委員

欠席委員 5名 小松真弓委員 村田志保委員 松川紀代実委員
(事前に意見書提出あり) 賀陽智之委員 山本恒安委員

放送事業者側回答者

佐藤芳幸(代表取締役) 大塚誠(統括部長 局長) 青木崇(制作室)

4. 議 題

審議番組 : Colorz on the Radio 「とんでけ!Friday♪」内で放送まちテナスタジオより生放送
10月10日金曜日18:00～スタート11月からは毎月第3金曜日18:00～18:15
パーソナリティ:長谷さおり、株式会社カラーズ仲間さん・平野さん
舞台や映像の現場で活躍するカラーズが、仕事のリアルや日常での気づきを、
ちょっとゆるめに語る番組です。

5. 議事の概要

あらかじめ送付した番組を録音した音声を聴いていただき審議。

6. 審議内容

審議委員意見

- ・ 初回および第2回放送ともに、明るく軽快なトークで聴きやすい番組構成である
- ・ 映像制作の現場や裏話など、普段触れる機会の少ない内容が興味深く、番組の独自性がある。
- ・ 社員の人柄や企業の雰囲気伝わり、地域企業の魅力発信として効果的である。
- ・ MCの進行が安定しており、話題の整理が分かりやすい。
- ・ ゲスト側の発言機会や進行参加を増やすことで、より双方向性のある番組になる可能性がある。
- ・ 専門用語や若者言葉が一部あり、リスナーによっては分かりにくい可能性がある。
- ・ 専門性を活かしつつ、補足説明を加えるなど、幅広い聴取者への配慮が望まれる。
- ・ 呼称については、「社長さん」等よりも「〇〇さん」など簡潔な表現が望ましい。
- ・ 地域に根ざした企業を取り上げる内容であり、コミュニティ放送としての公共性が認められる。
- ・ 地域住民に親近感を与え、地元産業への関心喚起につながる番組である。
- ・ 企業PRにとどまらず、地域とのつながりや人材育成の視点が評価された。
- ・ 映像制作という専門性のある分野を扱いながらも、実体験やエピソードを交えた構成により、興味深く聴取できる内容となっている。
- ・ 企業の業務紹介にとどまらず、社員の人柄や社内の雰囲気が伝わり、地域企業の魅力発信として評価できる。
- ・ 回を重ねるごとにトークが整理され、番組としての完成度が高まっている。
- ・ 地域に根ざした企業を取り上げることで、地域住民に親近感を与え、地元産業への関心を高める内容となってい
- ・ コミュニティ放送局としての役割である「地域情報の発信」「人と人とのつながりの創出」に資する番組である。
- ・ 企業PRに偏ることなく、公共性を意識した構成がなされていると評価された。

局の回答

- ・ 本番組は、地域企業の認知向上および人材採用促進を目的として企画されたものである。
- ・ ラジオ放送に加え、紙媒体や地域ビジョン等と連携した情報発信を行っている。
- ・ 地域住民に身近な情報を提供する内容となっており、コミュニティ放送局としての公共的役割を適切に果たしていると評価された。
- ・ 今後も、専門性と公共性の両立を意識しながら、番組内容の充実を図っていく方針である。
- ・ 映像制作という専門性の高い分野をテーマとしながらも、制作現場のエピソードや実体験を交えた構成により、専門分野に馴染みのない聴取者に対しても一定の理解を促す工夫がなされている点は評価できる。
- 一方で、専門用語や若者言葉が一部見受けられることから、聴取者層の幅を考慮し、必要に応じて補足説明を加えるなど、より分かりやすい表現への配慮が望まれるとの意見があった。
- 総じて、本番組は企業PRに偏ることなく、地域性・公共性を意識した内容であり、FM西東京における地域密着型番組の一つとして妥当であると認められた。今後は、番組の趣旨を踏まえつつ、表現方法や構成面の工夫を重ねることで、さらなる内容の充実が期待される。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

なし

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

自社放送 事務所への備え置き、自社HPでの掲載

9. その他の参考事項

なし